

# 2022年度（令和4年度）

## 産業・地域版デジタル化実行計画 評価報告書

### 地域のデジタル化

#### 【総括（評価のまとめと今後の方向性）】

##### 【安心・快適な暮らしの実現】

高齢者の見守りについては、センサー等を活用した緊急通報体制を整備した。今後は、利用が進むよう、地域包括センターと連携した制度周知などに取り組む。

モビリティ分野では、オンデマンド乗合タクシーの導入地区の拡大や新モビリティサービス実証実験を実施した。今後は、自動運転に関する調査を実施し、持続可能な移動サービスの検討を進める。

##### 【希望のライフスタイルの実現】

ヘルスケア分野では、フレイルチェックのデジタル化を継続するとともに、新たに健康増進アプリを導入した。今後は、健康に関するイベントなどで周知するなど、利用者の増加に取り組む。子育て分野では、スマート保育の対象を5施設に広げるとともに、市の公式LINEを使った休日保育の予約に対応するなどサービスの利便性を向上した。今後は、スマート保育を46施設に広げるとともに、LINEなど子育て世代に使いやすいアプリからのサービス拡充に取り組む。

##### 【地域コミュニティのデジタル化と人材育成】

地域コミュニティのデジタル化支援として、各学区の希望者を対象とした地域活動のデジタル化の事例紹介やLINE活用セミナーを実施した。引き続き、デジタル化に取り組む地域を増やすため、地域のデジタル化をけん引する人材育成に取り組む。また、地域住民が一体的にスマートフォンを活用する地域の事例創出に向け、モデルとなる地域でスマートフォンアプリを活用した交流セミナーを実施する。

#### 【評価結果一覧】

基本方針	施策	事業数	評価
1 安心・快適な暮らしの実現	(1) 防災・見守りなどへのデジタル活用	3	B
	(2) 医療・福祉・介護分野へのデジタル活用	2	B
	(3) 自動運転やモビリティサービスの実証	3	B
2 希望のライフスタイルの実現	(1) デジタル技術を活用した健康状態の見える化	2	B
	(2) 子育て支援のデジタル化	3	B
	(3) デジタル技術などを体験する場の提供	2	B
3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成	(1) 地域活動のデジタル化支援	2	A
	(2) 地域のデジタル人材育成	3	B

#### —評価方法について—

- ① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化
- 5点（◎）：達成率 100 %以上
  - 4点（○）：達成率 80 %以上 100 %未満
  - 3点（△）：達成率 60 %以上 80 %未満
  - 2点（×）：達成率 60 %未満

- ② 施策ごとに平均点を算出し、評価
- A：平均 4.5 点以上
  - B：平均 3.5 点以上 4.5 点未満
  - C：平均 2.5 点以上 3.5 点未満
  - D：平均 2.5 点未満

## 基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)防災・見守りなどへのデジタル活用	<p>【避難情報一括送信システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定どおりシステムを導入することで、迅速に避難情報を発信する体制が整備された。</li> </ul> <p>【高齢者の見守りへのデジタル活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員へタブレット端末を配布し、業務効率化を図る実証を開始した。</li> <li>・高齢者の緊急通報体制整備事業では、利用者数が目標に達しておらず、利用者を増やすための取組が必要である。</li> </ul>		<p>【避難情報一括送信システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを安定して運用できるよう、引き続きルール等の整備に取り組む。</li> </ul> <p>【高齢者の見守りへのデジタル活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員へのタブレット導入の効果を検証する。</li> <li>・高齢者の緊急通報体制整備事業では、利用者の増加に向けて、引き続き地域包括支援センター等を通じて周知するほか、見守り支援が必要な方の家族などへも周知する。</li> </ul>				
評価							
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 避難情報一括送信システムの導入（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	緊急速報メールや電話、FAX、SNSなど複数媒体へ情報を一括送信できるシステムを導入	導入スケジュール	実績値／目標値	—	導入／導入	—／システムの活用・効果検証	
			達成状況	—	◎	—	
② 民生委員のタブレット端末の活用（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	一部の民生委員でタブレットを使った会議、資料共有を実施し、全体への運用拡大を検討	タブレット導入台数	実績値／目標値	—	85台／100台	—／887台	
			達成状況	—	○	—	
③ 高齢者の緊急通報体制整備事業	緊急時の通報装置と見守りセンサーを貸与し、24時間見守る体制を整備	利用者数	実績値／目標値	—	362人／940人	—／970人	—／1,000人
			達成状況	—	×	—	—

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性			
(2)医療・福祉・介護分野へのデジタル活用	【医療のデジタル化に係る実証実験の実施】 ・通信設備のある車両等を用いた遠隔医療の体験会・実証実験を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、連携を予定していた医療機関のリソース確保が難しく、実施に至らなかった。		【医療のデジタル化に係る実証実験の実施】 ・コロナ禍後の医療提供体制に対するニーズを伺う中で、新たな技術等を活用した医療分野での事業構築を検討する。			
評価	【介護ロボット導入支援事業】 ・介護事業者への介護ロボット等の導入支援を実施し、目標を達成した。		【介護ロボット導入支援事業】 ・引き続き国や県と連携し、介護ロボットを導入する事業所の支援に取り組む。			
B						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 医療のデジタル化に係る実証実験の実施	遠隔医療を始めとした医療のデジタル化に係る体験会や実証実験等を実施	体験会及び実証実験の実施件数（累計）	実績値／目標値	－	－／2件	－／3件
			達成状況	－	×	－
② 介護ロボット導入支援事業	社会福祉法人等が介護ロボット等を導入する経費の一部を補助	介護ロボット導入事業所数（累計）	実績値／目標値	14事業所／14事業所	23事業所／19事業所	－／24事業所
			達成状況	◎	◎	－

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(3)自動運転やモビリティサービスの 実証	<p>【自動運転社会を見据えた実証実験の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公道でのレベル4 実証実験に関する法改正等の動向を見ながら、現状の公道実証実験の実施を見送った。</li> </ul> <p>【モビリティサービスの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンデマンド乗合タクシーでは、地域の交通課題に対応するため、導入エリアを拡大した。</li> <li>新モビリティサービスでは、駅前で実証実験を実施し、昨年度よりも利用者の増加につながった。</li> </ul>		<p>【自動運転社会を見据えた実証実験の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル4 の無人自動運転移動サービスの構築に向けて、福山市自動運転推進懇話会での意見を取り入れながら、走行ルートや車両選定等の調査に取り組む。</li> </ul> <p>【モビリティサービスの実証】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンデマンド乗合タクシーでは、路線バスの運行維持が困難な地域での移動手段の確保のため、引き続き導入エリアの拡大に取り組む。</li> <li>新モビリティサービスでは、利用者増加に向けた周知や店舗との連携促進など、民間企業の運営に向けたビジネスモデルの構築に取り組む。</li> </ul>				
評価							
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 自動運転社会を見据えた実証実験の実施	自動運転（レベル4）の実装に向け、実証実験や走行環境調査等を実施	実証実験や走行環境調査等の推進	実績値／目標値	<small>・運転席有人による実験（公道）</small> <small>・運転席無人による実験（閉鎖空間）</small>	<small>・運転席有人による実験（公道）</small> <small>・走行環境の調査</small>	<small>・運転席無人による実験（公道）</small> <small>・走行環境の調査・整備</small>	<small>・世界バラ会議を想定した実験</small> <small>・走行環境の調査・整備</small>
			達成状況	◎	×	—	—
② オンデマンド乗合タクシー実証運行の実施	オンデマンドモビリティシステムによる乗合タクシーの運行	導入エリアの拡大（累計地区数）	実績値／目標値	5地区／5地区	6地区／6地区	—／7地区	—／8地区
			達成状況	◎	◎	—	—
③ 新モビリティサービス実証実験の実施	グリーンスローモビリティ等と多様なサービスを連携させる実証実験の実施	実証実験の実施件数（累計）	実績値／目標値	4件／4件	5件／5件	—／6件	—／7件
			達成状況	◎	◎	—	—

基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)デジタル技術を活用した健康状態の見える化	<p>【健康増進アプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の約7割でウォーキングの歩数が増加するなど、健康づくりに寄与することができた。</li> <li>・登録者数は目標を下回ったことから、利用者の拡大に向けた取組が必要である。</li> </ul> <p>【フレイルチェックのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中断せざるを得ない状況もあったが、ほぼ計画通りに実施でき、実績値も目標を上回った。</li> </ul>		<p>【健康増進アプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や団体など、グループで歩数を競うランキングや大規模イベントでのポイント付与などを実施し、アプリ登録者の増加に取り組む。</li> </ul> <p>【フレイルチェックのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルチェック会の実施回数を増やし、ソフトの機能や実施方法を見直すことで、フレイルチェックの利用を促進する。</li> </ul>				
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 健康増進アプリの導入（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	健康増進アプリを通して市民の健康づくりに対する意識向上と生活住管の改善を図る	アプリのユーザー登録者数	実績値／目標値	—	2,585人／10,000人	—／12,500人	—／15,000人
			達成状況	—	×	—	—
② フレイルチェックのデジタル化（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	スマホ等アプリで市民が気軽にチェックし、健康状態を把握	フレイルチェック実施人数	実績値／目標値	4,971人/7,260人	11,999人／9,660人	—／次期、福山市健康増進計画で検討	
			達成状況	△	◎	—	

基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)子育て支援のデジタル化	<p>【アプリを活用した子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定どおり，スマート保育を新たに5施設に導入できた。</li> <li>・市LINE公式アカウントに，休日保育の予約機能を拡充したが，利用が当初の想定を下回るため，利用を促す取組が必要である。</li> </ul>		<p>【アプリを活用した子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート保育を公立就学前の46施設に目標を上方修正して導入をめざす。また，保護者の利便性向上のため，アプリの機能改善などに取り組む。</li> <li>・休日保育の予約では，休日保育事業以外の予約機能の拡充に取り組む。</li> </ul>				
評価	<p>【オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症による行動制限等の緩和に伴い，対面での相談などを望む人が多く，利用件数は伸び悩んだ。</li> </ul>		<p>【オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産を機に福山市外への里帰りした方や出産して間もない方など，対面での相談が困難な場合でも，オンラインを活用していつでも・どこでも相談できる体制の維持に取り組む。</li> </ul>				
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① スマート保育の実施（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	保護者との連絡などのデジタル化を実証し，順次市内施設へ導入	公立保育所・認定こども園へのスマート保育導入	実績値／目標値	2施設／2施設	7施設／7施設	－／2022年度の導入状況から目標を設定	
			達成状況	◎	◎	－	
② 子育て支援アプリの機能拡充（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	子育て支援アプリに休日保育予約機能を拡充	アプリからの申込率	実績値／目標値	－	24％／40％	－／60％	－／95％
			達成状況	－	△	－	－
③ オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催	オンラインを活用した子育て相談や座談会を実施	オンラインによる講座実施数	実績値／目標値	18件／5件	13件／18件	－／20件	－／22件
			達成状況	◎	△	－	－

## 基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(3)デジタル技術などを体験する場の提供	<p>【「びんごキッズラボ」の開催】</p> <p>・プログラミングやデジタル技術等を体験できるイベントを開催し、目標の参加者数を達成することができた。アンケート満足度も概ね高かったことから、デジタル社会に必要なスキルや創造力の啓発等に寄与することができた。</p> <p>【子ども未来館構想の推進】</p> <p>外部有識者の意見を取り入れるとともに、アンケート等による市民の意見も反映させながら、基本構想を策定することができた。</p>		<p>【「びんごキッズラボ」の開催】</p> <p>・継続して小中学生や、家族で楽しみながらデジタル技術に触れる機会を提供する。</p> <p>【子ども未来館構想の推進】</p> <p>・引き続き各関係者と協議する中で、基本計画の早期策定に取り組む。</p>				
評価							
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 「びんごキッズラボ」の開催（「産業のデジタル化」より再掲）	子どもを対象としたデジタル技術等体験イベントの開催	参加者数	実績値／目標値	579／500人	1,399人／1,000人	－／1,000人	－／1,000人
			達成状況	◎	◎	－	－
② 子ども未来館構想の推進	科学やテクノロジーに触れることができる（仮称）子ども未来館を設置	（仮称）子ども未来館の設置	実績値／目標値	基本構想の策定／基本構想・基本計画の策定		－／導入可能性調査，設計等の事業者選定	
			達成状況	×		－	

### 基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1) 地域活動のデジタル化支援	<b>【地域活動のデジタル化支援】</b> ・地域活動デジタル化意識醸成事業では、SNS等を活用した地域の事例共有を実施した。また地域の意向に応じた伴走支援を実施し、デジタルツール導入を支援した。 ・一方で、活用につながっていない地域や、役員間の活用に留まっている状況があるため、地域内での利活用を促す取組が必要である。		<b>【地域活動のデジタル化支援】</b> ・地域活動デジタル化意識醸成事業では、引き続き地域でのデジタルツールの導入に向けた活用事例の共有に取り組む。 ・地域内の住民での地域交流セミナーを実施するなど、地域一体となったデジタル活用のモデル創出に取り組む。				
評価							
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 地域活動デジタル化意識醸成事業（びんごデジタルラボ）	地域団体を対象にデジタル化のセミナーを開催	セミナーへの参加者数（累計）	実績値／目標値	—	248人／80人	—／160人	—／240人
			達成状況	—	◎	—	—
② 地域情報のデジタル化（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	地域自らがデジタル技術を活用した情報伝達、発信ができるよう支援	希望する学区への支援	実績値／目標値	14学区/支援14学区	46学区/ニーズ調査の検討/希望する学区を随時支援	—/ニーズ調査の検討・希望する学区を随時支援	
			達成状況	◎	◎	—	



### 基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2) 地域のデジタル人材育成	<p>【高齢者のデジタル活用の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者デジタル活用支援事業では、スマートフォンの購入補助から使い方までの一体的な支援を実施した。</li> <li>・デジタルサービス講習会の実施では、目標値を達成でき、デジタルデバイドの解消に寄与することができた。</li> </ul> <p>【地域団体向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を地域活動に導入する手法を体験しながら学ぶセミナーを実施し、地域団体の役員等の人材育成に寄与することができた。</li> </ul>		<p>【高齢者のデジタル活用の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者デジタル活用支援事業では、広報紙の活用等、効果的な周知を図り、引き続きデジタルデバイドの解消に取り組む。</li> <li>・デジタルサービス講習会の実施では、拠点支所だけでなく交流館で実施するなど、高齢者が参加しやすい環境を整備するほか、講座に対する満足度を向上させるため、アンケート結果から判明したニーズを反映させるなど、講座内容の充実に取り組む。</li> <li>・継続的に地域住民がスマートフォン等のデジタル機器に触れる習慣をつくるため、スマートフォンアプリを活用した地域交流セミナーを実施するなど、地域一体となったデジタル活用のモデル創出に取り組む。</li> </ul> <p>【地域団体向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web会議やSNS等の地域での活用例があるツールについて、引き続き地域団体の役員等に対して体験しながら学ぶ講座を設け、地域活動の利便性向上に取り組む。</li> </ul>				
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① デジタルサービス講習会の実施（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	デジタル活用に理解や技術が不十分な人を対象に、講習会を開催	希望する全ての人へ講習会を実施	実績値／目標値	23％／10％	40％／30％	－／65％	－／100％
			達成状況	◎	◎	－	－
② 高齢者デジタル活用支援事業（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	高齢者を対象に、スマホの購入、使い方などを支援	事業でスマホを使い始めた高齢者数	実績値／目標値	－	7,946人／10,000人	－／高齢者のデジタルサービスの利用拡大	
			達成状況	－	△	－	
③ 地域団体向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催	Web会議やSNSなどを地域活動に導入する手法を学ぶセミナーを実施	地域住民向けアカデミーへの参加者数（累計）	実績値／目標値	－	248人／80人	－／160人	－／240人
			達成状況	－	◎	－	－